

令和元年度第1回

滋賀県ふるさと・水と土保全対策推進懇話会

中山間ふるさと・水と土保全対策

事業実施計画（H27～R元）の実績等について

令和元年8月29日（木）

滋賀県 農政水産部 農村振興課

滋賀県の県土の構成

- 森林 201,654ha (50.2%)
- 琵琶湖 66,926ha (16.7%)
- 耕地 52,100ha (13.0%)
- その他 81,058ha (20.1%)

■ 県土の構成



■ 地勢図



しがの農林水産業(2019年度)より

滋賀県における中山間地域

- 地域振興8法の指定地域等
204,128ha（県面積の50.8%）
- 農林統計上の中間・山間農業地域
- 県内19市町のうち、11市町（大津市、栗東市、甲賀市、近江八幡市、東近江市、日野町、彦根市、多賀町、長浜市、米原市、高島市
（旧市町村（S25.2.1時点）で指定されているため、市町全域ではない。）



中山間地域の現状

- 傾斜地が多く、農地の集積・集約化が容易ではなく、平地に比べて、営農条件面において不利な状況にある。
- また、野生獣（イノシシ、シカなど）の被害を受けやすく、人口減少や高齢化、担い手不足等の厳しい状況に置かれている。
- 一方、清らかな水や棚田など、平地にはない地域資源を有しており、創意工夫を凝らした農業の営みの可能性を秘めている。

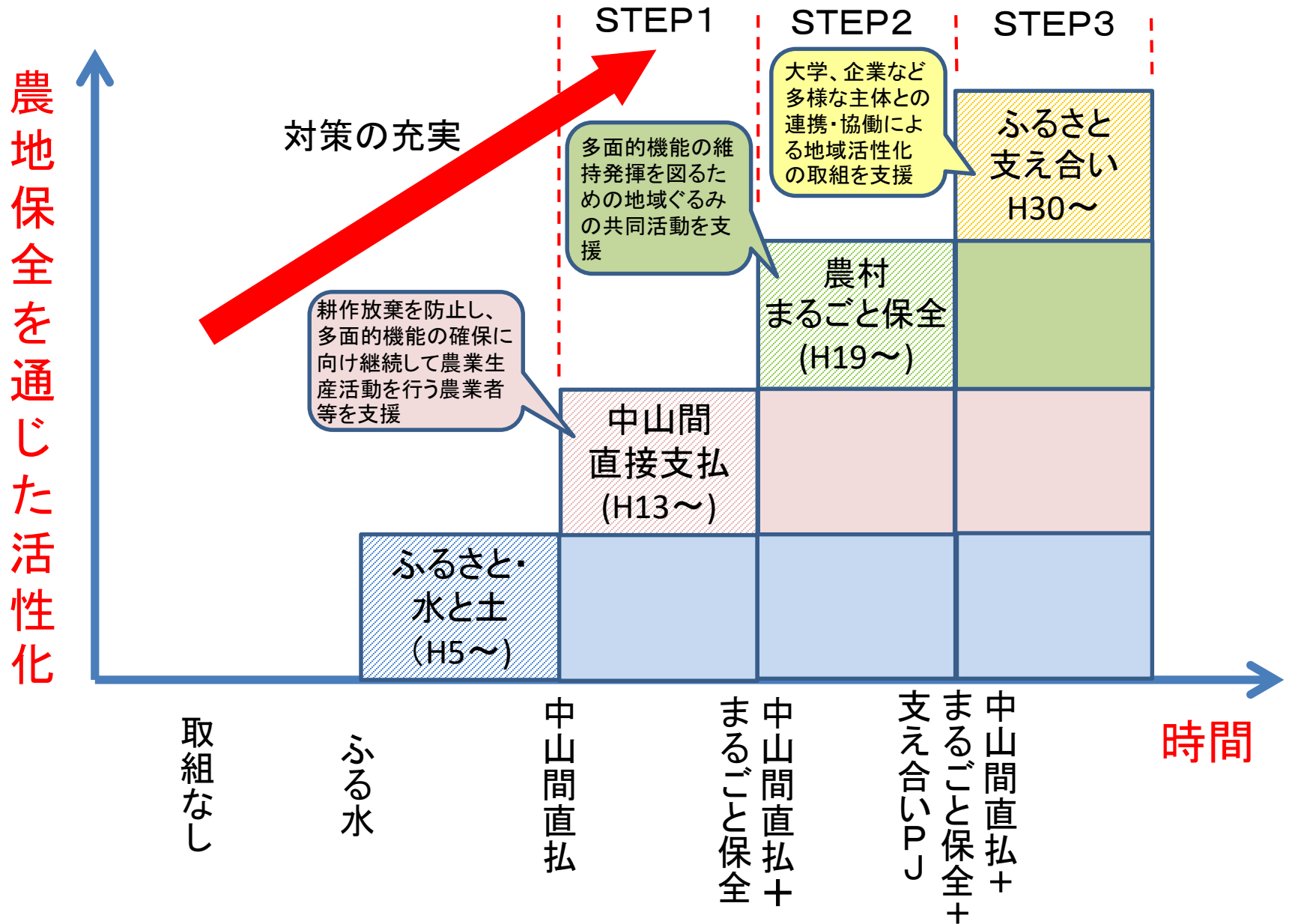


各事業の概要

事業区分	事業概要	補足事項	実績等
ふるさと・水と土 保全対策 (H5～)	農業・農村の多面的機能の発揮と集落共同活動の活性化を図るため「ふる水基金」を造成し、運用益等により <u>地域住民活動を推進する人材の育成、施設の利活用および保全整備等の促進</u> に対する支援を行う。	面的まとまりが小さく中山間直払やまるごと保全での活動が難しい地域に対し、組織体制づくりなどに向けた活動を支援	ふるさと農村支援事業の実施(15集落)により、中山間直払(まるごと保全)に取り組むこととなった組織 4集落
中山間地域等直接支払交付金 (H13～)	条件不利地域である <u>中山間地域などにおいて、耕作放棄地を防止するための共同活動や農業生産体制の整備</u> に向けた取組を支援	4期対策 H27～H31	150協定(10市町) 1,736ha (集落協定148・個別協定2) (H30実績)
世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策 (多面的機能支払交付金) (H19～)	農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るための <u>地域共同活動を支援し、地域資源の保全管理の推進</u> を図り、豊かな恵みを育む農村を良好な姿で次世代へ引き継ぐ	①農地維持支払 ②資源向上支払	728組織(19市町) ①36,633ha ②34,825ha (H30実績)
しがのふるさと支え合いプロジェクト(H30)	中山間地域の集落等と多様な主体が協定を締結して行う協働活動を支援する。	H30～開始	H30:4協定

※中山間直払・まるごと保全の両交付金に取組 110協定 1,452ha

中山間地域対策事業



ふるさと・水と土保全対策事業の概要

○趣旨

農業・農村の多面的機能の発揮と集落共同活動の活性化を図るため、「ふるさと・水と保全基金」を造成し、その運用益等により地域住民活動を推進する人材の育成、施設の利活用および保全整備等の促進に対する支援を行う(H5から実施)。

★農林水産省

国の事業

・県、市町における保全対策、推進方策の検討、国内外の先進事例の調査研究等



指導・連携

★滋賀県

県基金事業

・ふるさと・水と土保全基金 基金造成額:8.6億円(H5~H9)

(国補助:6.69億円<国1/3,県2/3> 県単独:1.91億円)

基金条例 平成5年10月15日施行、基金残高 平成30年度末:7.77億円

○調査研究事業 ○研修事業 ○推進事業



指導・連携

★市町

市町基金(14市町で設置)

・集落共同活動の支援等
・ふるさと水と土推進員の育成

事業実施計画の主な成果目標(H27～R1)

事業区分	事業内容	当計画における成果目標	
1. 調査研究事業	地域住民活動の活性化を通じた土地改良施設等の機能の強化・保全に関する基礎対策等の作成およびこれに要する調査	集落と多様な主体とのマッチングを図る体制の整備	支援地区 0→40主体 ※プロジェクトへの登録数
2. 研修事業	地域住民活動の活性化に関する推進指導及び助言等を行う人材の育成	指導員等の育成	指導員研修 年1回→ 年2回
3. 推進事業	2で育成した人材等が行う土地改良施設又は農地の保全に関する現地診断や地域住民活動の活性化の推進 保全対策事業の啓発・普及	農村活性化の計画・実践活動を行う集落の支援	支援地区 0→12地区 ※プロジェクト事業に取り組む地区数

計画後の目指す姿

集落の課題に対する話し合いを進め、担い手をはじめ集落の農業者と住民が互いに支え合い、企業や大学、NPO等と協働し、地域資源を活かした協働活動支援等により、地域の創意工夫による農村活性化を目指す。

1. 調査研究事業

【地域づくり芽出し講座】（H27～H28）

・地域住民自らが地域の課題に対して考え、取り組む活動に対しワークショップや講師派遣等の支援を行った。

目標／実績	H27	H28
目標	2地区	2地区
実績	1地区	2地区



地域づくり芽だし講座（H27甲賀市甲賀町）

【中山間地域現状調査】（H28～H29）

・中山間地域の農村集落の現状や課題の把握、多面的機能の維持対策の基礎資料とするための調査を実施

目標／実績	H28	H29
目標		
①アンケート等調査集落	①24集落	①12集落
②ワークショップ実施集落	②3集落	②3集落
実績		
①アンケート等調査集落	①24集落	①12集落
②ワークショップ実施集落	②3集落	②3集落

3. 推進事業

- ・ 集落と企業、大学等が連携して地域の農村活性化の取組を支援

【ふるさと農村支援事業】 H27

- ・ 地域の活性化を図る目的で行われる地域住民活動に対して支援を行った。

目標／実績	H27
目標	2地区
実績	1地区



水路の補修(H27多賀町滝ヶ原)

【人と地域が織りなす滋賀の農業・農村活力創造プロジェクト】 H27～H29

- ・ 集落機能を維持し、魅力ある地域づくりを目指すため、地域資源を活用した地域活性化の取組を支援した

目標／実績	H27	H28	H29
目標	2地区	1地区	1地区
実績	2地区	1地区	0地区



住民参加の収穫祭(H27甲賀市岩室)

3. 推進事業

普及啓発事業(H27～)

当業趣旨や農業農村整備事業の取組などを普及啓発するために、情報発信を行う。

①県HP「田舎体験しが」 (更新回数)

目標／実績	H27	H28
目標	24件	24件
実績	24件	15件

※H29～グリーンツーリズム滋賀に改編

②広報誌『滋賀のむらだより』

・農村の魅力を地域住民や都市住民への啓発するための冊子の作成

目標／実績	H27	H28
目標	1,000部	1,000部
実績	1,000部	1,000部

③フェイスブック等による情報発信

・フェイスブック「しがの農業農村」による情報発信（更新回数）（H29～）

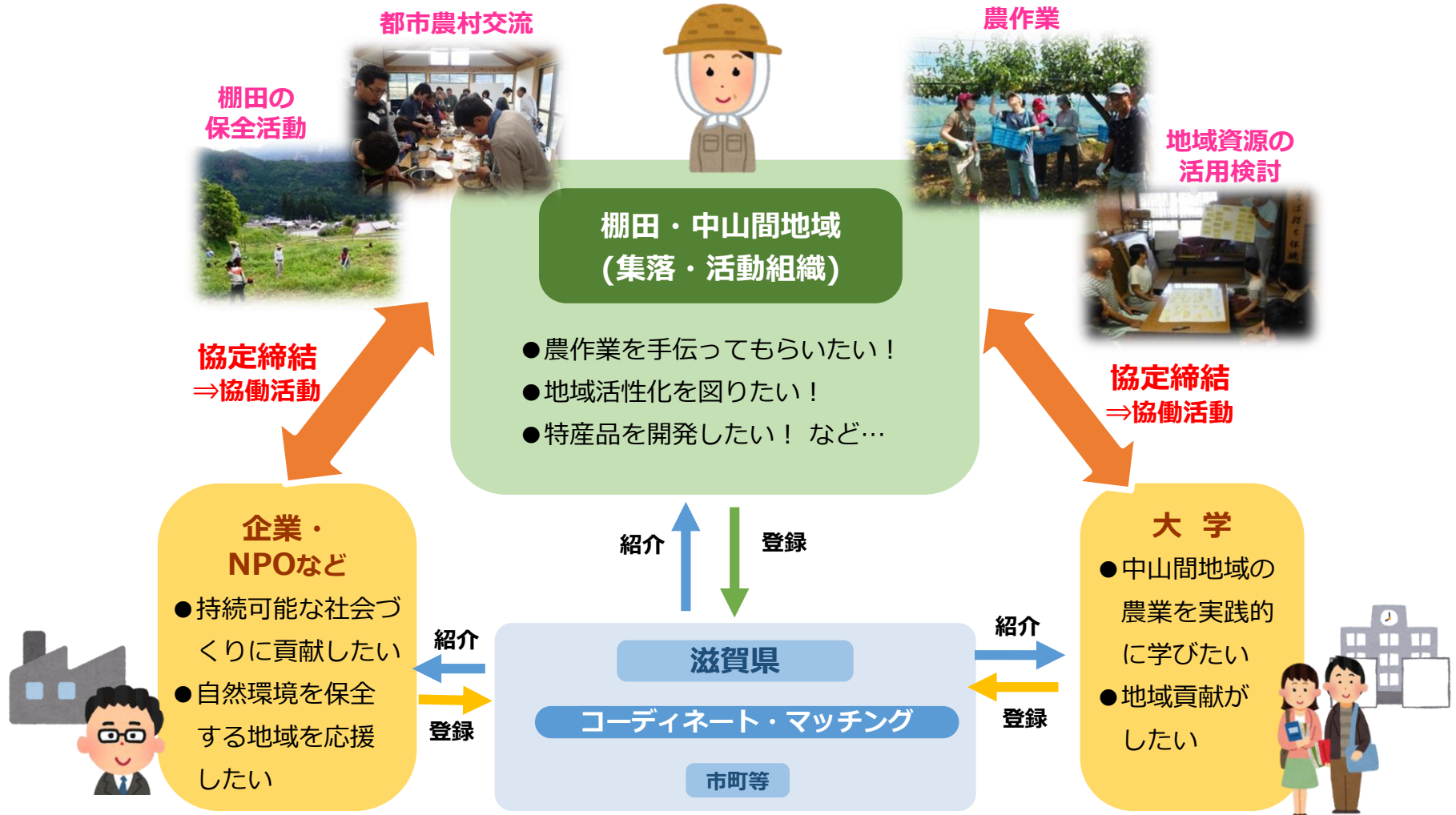
目標／実績	H29	H30
目標	48件	48件
実績	16件	58件



3. 推進事業 しがのふるさと支え合いプロジェクト (H30~)

中山間地域の集落や地域活動団体と、企業や大学、NPO法人等が協働して行う、地域活性化の取組を支援します。

しがのふるさと支え合いプロジェクトのイメージ



プロジェクトでは、こんなことができます!



①企業、大学、NPO法人等の方



中山間地域の集落や地域活動団体と、地域活性化のための協定を締結して協働活動を行います。協定の期間は3年間です。協定1年目に、活動に必要な経費に対して補助が受けられます。

対象	対象となる取組	補助額
企業や大学、NPO法人または準ずる団体など	農村集落等と協働し、地域農業や多面的機能の維持・活性化を図る活動や地域資源の活用、住民交流活動など農村の活性化を促進する効果のある取組 ※1年目に協定を締結する必要があります。	左の欄の活動に要する経費 (10万円以内)

※補助対象経費(例)…協働活動を行うための旅費、自動車等の燃料代、レンタカー代、消耗品や備品の購入費等



②中山間地域の集落や地域活動団体の方

地域活性化に向けた話し合いや先進地視察、ワークショップなどを行ったり、活性化に向けた実践活動、企業・大学等と協定を締結した協働活動等を行うことができます。また、活動に必要な経費の補助が受けられます。

対象	対象となる取組	補助額
自治会、地域住民等で組織する地域協議会、土地改良区や自治会等で構成する地域活動団体など	集落等で話し合いや先進地視察等を行って、地域の活性化計画をつくるための取組	左の欄の活動に要する経費 (15万円以内)
	地域の活性化計画に基づく実践活動や、企業や大学等と連携・協働した活性化を促進する取組	左の欄の活動に要する経費 (20万円以内)

※補助対象経費(例)…旅費、バス代、自動車等の燃料代、レンタカー代、消耗品や備品の購入費等

プロジェクトの進行状況 (1. 調査研究事業 / 3. 推進事業)

■ 成果指標「プロジェクトへの登録団体数」

目標／実績	H30	R1
目標	20	20
実績	10※1	(5)

※1

【集落6】観音寺自治会(栗東市)、山女原ボランティア委員会(甲賀市)、百済寺ブランド認証協議会(東近江市)、池原自治会(長浜市)、明日の走井を考える会(栗東市)、鶴川棚田保存会(高島市)

【多様な主体4】社会福祉法人パレットミル、トヨタ紡織滋賀株式会社、龍谷大学、滋賀文教短期大学

■ 成果指標「集落と協働して活動を行う多様な主体数」

※多様な主体…企業、大学、NPO等

目標／実績	H30	R1
目標	6	6
実績	4※2	(2)

※2

【多様な主体4】社会福祉法人パレットミル、トヨタ紡織滋賀株式会社、龍谷大学、滋賀文教短期大学

■ 成果指標「活性化計画および実践を行う集落数」

※「しがのふるさと活力づくり支援事業による支援

目標／実績	H30	R1
目標	6	6
実績	2※3	(2)

※3

【集落2】明日の走井を考える会(栗東市)、宮尻区(甲賀市)

H30 プロジェクト活動事例①

滋賀文教短期大学×池原自治会



■活動場所

長浜市

■活動内容

棚田の草刈、そば道場での交流、地域資源の活用方法の検討等

■補助金の活用

活動用資材(長靴、軍手、名札等)、活動報告資材(イーゼル、額等)の購入

■参加者の声

- ・地域の魅力や課題を知り、地域貢献にあたって学生の力が求められていることがわかった(学生)。
- ・大学において、地元や関係機関を交えた活動報告会を実施したことで、活動の振り返りやプレゼンテーションの機会につながり、充実したキャリア教育ができた(大学)



H30 プロジェクト活動事例②

トヨタ紡織滋賀株式会社

×山女原棚田ボランティア委員会



■活動場所

甲賀市

■活動内容

耕作放棄地(クルミ植栽地)の草刈、ひまわりの種まき、都市農村交流活動への参加等

■補助金の活用

草刈機講習会受講費、作業用ユニフォームの作成、作業用資材(ヘルメット、長靴、タオル、防止)の購入

■参加者の声

- ・地域との交流、地域への貢献ができた。また社員の意識も高まって良かった(トヨタ)
- ・集落外の力を借り、事業も活用しながら、クルミの商品化等さらに新しい取組を進めたい(山女原)

H30 プロジェクト活動事例③

社会福祉法人パレット・ミル×観音寺自治会



■活動場所
栗東市

■活動内容

自治会と協働した米づくり(田植、草刈、収穫作業)、水田のあぜの草刈、集落の祭りへの参加等

■補助金の活用

農作業に必要な資機材(草刈機、フェイスガード等)の購入

■参加者の声

- ・人手が回らなくなった農地を一緒に守ってもらえる(集落)
- ・農業は素人だが地域の方と協働することで技術的な支援が受けられた。また、地域貢献にも、作業者の所得向上にもつながる良い取組になった(社会福祉法人)。



【事業実施計画の成果目標の達成状況(H30時点)】

事業区分	成果目標	
1. 調査研究事業	集落と多様な主体とのマッチングを図る体制の整備	支援地区 目標:0→40主体 ※プロジェクトへの登録数 実績(H30):10主体
2. 研修事業	指導員等の育成	指導員研修 年1回→年2回 実績(H30):年2回
3. 推進事業	農村活性化の計画・実践活動を行う集落の支援	支援地区 0→12地区 ※「しがのふるさと活力づくり支援事業」 に取り組む地区数 実績(H30):2地区


事業実施における現状・課題と今後の対応

【事業実施における課題】

- ◆ 「集落と多様な主体とのマッチングを図る体制整備」については、目標の登録団体数40団体に対し実績は10団体と十分な成果が得られなかったが、その原因として、お互いの「顔」が見えずパートナーシップが築けなかったことによるものと考えられる。
- ◆ 「農村活性化の計画および実践活動を行う集落への支援」は目標12地区に対し実績は2地区であったが、その原因として、支援制度のPR不足など十分な普及啓発が図れなかったことによるものと考えられる。

【今後の対応】

- ◆ 集落や多様な主体が一堂に会し、それぞれが持つ知恵や資源、強みなどを意見交換し、協働・連携を図る交流会の開催により「顔」の見える関係を築きマッチング(登録)を促進する。
- ◆ また、地域が主体となった体制構築に向けた検討やリーダーの育成に向けた人材研修などを積極的に行い、プロジェクトの取組拡大を図る。さらに、研修会などの機会を捉え、計画策定や実践活動などの取組に対する支援制度について周知徹底を図る。



多様な主体の連携・協働による地域資源を
活かした農村地域の活性化